

平成 2 1 年 度 事 業 報 告

自 平成 2 1 年 4 月 1 日
至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

一、事業内容

(一) 狩猟事故防止指導事業

1. 狩猟事故及び違反防止のため狩猟事故防止指導員 6 5 名を委嘱し、県下に配置するとともに大日本猟友会長委嘱の安全狩猟指導員 4 9 名と呼応して入猟者の指導に当たった。
2. 各支部毎に狩猟事故防止指導員の研修会を開催したほか、1 0 月に県猟友会主催の狩猟事故防止対策協議会を開催し事故防止の徹底を図った。
3. 各支部毎に地区内のパトロールを行い、狩猟事故防止・狩猟マナー向上を呼び掛け、事故防止及びマナーの向上につとめた。
4. 銃刀法改正、鳥獣保護法改正、狩猟事故防止について、地区猟友会長あてに通知し会員に徹底した。

(二) 猟鳥増殖事業

1. 群馬県日本キジ・ヤマドリ養殖組合よりヤマドリ及びキジを購入し、ヤマドリ 3 0 羽は 1 0 月・1 1 月(猟期前)、成鳥キジ 2 7 6 羽は猟期後、可猟地に放鳥した。

支部別放鳥実績

鳥 名	支部名	渋 川	沼 田	吾 妻	藤 岡	富 岡	高 崎	東 部	計
ヤマドリ	120 日令	1 2	1 1	7	0	0	0	0	3 0
キ ジ	成 鳥	4 7	4 3	2 7	2 0	2 0	4 3	7 6	2 7 6
合 計		5 9	5 4	3 4	2 0	2 0	4 3	7 6	3 0 6

2. キジ・ヤマドリの放鳥効果を高めるため、猟期においてこれら鳥類の増殖に有害なキツネ及びテン等の捕獲を奨励した。
3. 藤岡市上日野地内民有地を借用し、3 月鳥類食餌木コナラ 1 5 0 本、クヌギ 1 5 0 本の実のなる木植栽事業を実施し、現地に『野鳥の森』立看板を設置、野生鳥獣生息の環境整備を行った。

(三) 会報発行事業

1. 猟友ぐんま第 5 1 号を平成 2 1 年 1 0 月に 2, 5 0 0 部発行し、会員及び関係機関に配布した。

2. 猟友だより第29号を平成21年7月に2,600部、第30号を平成22年3月に2,500部発行し、会員及び関係機関に配布した。

(四) 射撃部事業

会員相互間の親睦を図るとともに、射撃技術を習熟することによって狩猟事故を防止するため安全狩猟射撃大会を次のとおり開催した。

1. 群馬県猟友会ライフル・スラッグ射撃大会
7月18日埼玉県長瀨総合射撃場において開催し、ライフル部門16名、スラッグ部門9名、計25名が参加した。
2. 平成21年度安全狩猟地区対抗射撃大会
7月26日群馬県クレ射撃場において開催し、トラップ部門57名、スキート部門39名が参加し、トラップ部門では藪塚猟友会、スキート部門では、上野村猟友会が優勝した。
3. 平成21年度安全狩猟フィールド射撃大会
8月9日群馬県クレ射撃場において、平成21年度安全狩猟フィールド射撃大会を開催し、26名が参加した。
4. 一都八県安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会
9月5日静岡県西富士射撃場において、当番である山梨県猟友会により一都八県ライフル・スラッグ射撃大会が開催された。本県の成績は、ライフル部門第4位、スラッグ部門第2位、総合第3位であった。
5. 第4回安全狩猟関東山静ブロック射撃大会
9月16日成田射撃場において、当番である東京都猟友会により第4回安全狩猟関東山静ブロック射撃大会が開催され、Aチーム、Bチーム共健闘した。

(五) 猟犬部事業

1. 獣猟犬訓練会
9月27日渋川市上白井地区内において実施。12名で17頭が参加し、17名が見学した。
2. 実猟犬猟野競技会
3月21日藤岡市及び高崎市新町にかかる神流川河川敷において開催。若犬の部6頭、成犬の部26頭、計32頭が出犬し、若犬の部では藤岡猟友会会員、成犬の部では利根沼田猟友会会員の所有犬が各々優勝した。

(六) 教育宣伝事業

1. 全国狩猟倶楽部機関誌「全猟」を購入し、事務所に備えて来訪者の閲覧に供した。
2. 大日本猟友会報を全会員に配布した。

(七) 表彰関係

1. 永年地区猟友会において会員の指導及び会の運営に尽力した方の功績をたたえ表彰した。
2. 永年地区猟友会運営に尽力し役員を退任された方に感謝状を贈呈した。

(八) 群馬県証紙売捌き事業

狩猟免許税、登録税等について県証紙の売捌きを行った。

証紙売捌き取扱手数料（県外登録者） 8 3 1 , 2 5 9 円

(九) 狩猟災害共済及びハンター保険事業

免許の種類	狩猟災害共済			ハンター保険		
	加 入 数	掛 金	合 計 額	加 入 数	掛 金	合 計 額
網猟・わな猟	216 名	1,500 円	324,500 円	185 名	※1,640 円	303,370 円
第 1 種 銃 猟	2,089 名	3,000 円	6,267,000 円	1,633 名	4,000 円	6,532,000 円
第 2 種 銃 猟	34 名	1,500 円	51,000 円			
網わな 1 種 2 種	—	—	—	309 名	4,290 円	1,325,610 円
計	2,339 名	—	6,642,000 円	2,127 名	—	8,160,980 円

※加入期間により変動します

給 付	狩猟災害共済		ハンター保険	
	給付件数	給 付 金 額	請求件数	保険金支払額
平成 2 1 年度	1 0 件	7 , 0 2 7 , 5 7 1 円	3 1 件	3 , 6 2 1 , 5 1 5 円

(十) 狩猟免許等所持証明発行事業

発行件数は 4 9 7 件であり、手数料（1 件あたり 2 0 0 円） 9 9 , 4 0 0 円を支部運営費として交付した。

(十一) 狩猟免許更新講習及び更新申請取纏め事業

県が行なう３年毎の狩猟免許更新申請において本年度の狩猟免許更新予定会員２，２９２名に対し、期間更新年度である旨を通知するとともに狩猟免許更新申請の取纏めを行ない、狩猟免許更新講習会を３０回実施した。

(十二) 初心者予備講習会事業

県が行なう狩猟者試験の受験の便をはかり、併せて狩猟者の資質を向上するため予備講習を行なった。

実績は次のとおり。

講義内容	法令、鳥獣の知識判別、銃器及び猟具の取扱等について		
受講者 第１回目	７月２１日 群馬県公社ビル１階東・西研修室	５２名	
第２回目	９月 ８日 群馬県クレ射撃場会議室	５９名	計１１１名

(十三) 狩猟者登録申請取纏め事業

会員の県内外登録申請及び県外よりの登録申請の取纏めを行なった。県外からの狩猟者は、１，４８２名、県内居住者は２，６０５名、合計４，０８７名であった。

(十四) 放鳥及び標識類設置事業

県の委託を受け猟期前にキジ１２０日令、ヤマドリ１２０日令、猟期後に成長キジを放鳥し、及び鳥獣保護区、休猟区等で制札及びビニール標識等の設置・撤去事業を行なった。

(十五) 射撃場運営事業

本年４月群馬県より群馬県クレ射撃場の指定管理者の指定を受け、射撃場の運営を通じて県民の健全な心身の発達並びに銃器使用者の銃器の正しい取扱技術の習得及び射撃技術の向上をはかると共に、地域住民の意見・要望にも配慮し近隣住民との融和と施設への理解とサービスの向上に努め、健全経営を行なっている。

射撃場利用状況

利用者数	内県外利用者数(%)	クレ使用数	ラビットクレ使用数	合 計
６，１９５名	６１１名(9.9%)	６２１，４２２枚	３，８９５枚	６２５，３１７枚

射撃教習実施状況 平成２１年度 １３回 ２２名

(十六) アマチュア無線技士養成事業

各市町村に災害が発生した場合に、３４地区猟友会が協力体制を構築できるようアマチュア無線技士養成課程講習を実施した。

講義内容 第４級アマチュア無線技士養成課程

受 講 者	第1回目	10月10日～11日	群馬県公社ビル1階西研修室	30名
	第2回目	10月20日～21日	群馬県クレー射撃場会議室	34名
				計 64名